

暮らし安心共創予算

共に創り、共に進む もっとやさしいまち明石へ



SDGs 未来安心都市・明石

【あかしSDGs後期戦略計画に掲げるまちづくりの重点事項】

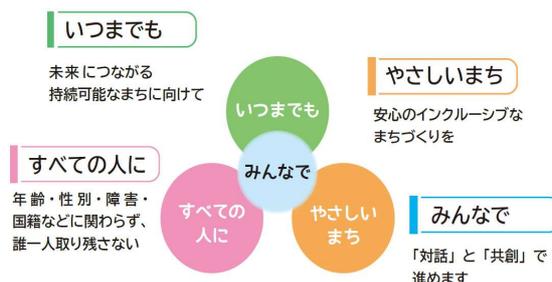
対話と共創によるもっとやさしいまちづくりで 暮らしに“安心”を生み出す

○あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）に掲げる目指すまちの姿「SDGs未来安心都市・明石」の実現に向けて、あかしSDGs後期戦略計画に基づき、これまで以上に市民一人ひとりに寄り添う市政運営を目指します。

○そのため、対話により地域課題の本質を見極め、産学官民の共創によるまちづくりを推進することで、すべての市民が安心して暮らし続けられ、心豊かに幸せを実感できるやさしいまちづくりを展開します。

SDGs未来安心都市・明石

～ いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで ～



SDGs 未来安心都市・明石

【2026年度予算における3つの視点】

① 新たな価値を創造する(対話と共創のまちづくり)

- 本市では、まちづくりの基本方針を「対話と共創」とし、昨年は、「対話と共創の第2ステージ」として、「あかし対話と共創ウィーク」の開催や、産官学民の多様な主体が参画する「あかし共創プラットフォーム」を立ち上げるなど、「対話と共創のまちづくり」を重点的に推進してきました。
- 今後も、これまで実施してきたタウンミーティングや民間提案制度に加え、新たに立ち上がったあかし共創プラットフォームを通じて、様々な課題を深掘し、より良い解決策や新たな価値を創造する具体的な取組につなげていきます。

【2026年度予算における3つの視点】

② 前に進める(インフラ整備と地域の魅力創造)

- 市民生活の基盤である「インフラ整備」について、将来世代に課題を先送りすることなく、財政の持続可能性も確保した上で、老朽化対策などをしっかりと進めていく必要があります。
- そこで、市役所新庁舎や新ごみ処理施設の建設に加えて、小学校体育館への空調整備を進めるとともに、市民病院や卸売市場などについて、施設の在り方を十分に議論し、方向性を示します。
- さらに、多様な市民と対話をしながら、地域の方に愛され、地域の活力と交流を生み出す拠点整備を進め、併せてソフト事業も展開することで、市民とともに「地域の魅力創造」に取り組みます。

【2026年度予算における3つの視点】

③ 市民生活を守る(物価高騰対策)

- 物価高騰に直面している市民生活を守るとともに、事業者の地域経済活動を支えるため、国や県の経済対策を踏まえつつ、国の重点支援地方交付金を活用し、「物価高騰対策」に全市をあげてスピード感を持って対応し、物価高に対する市民の不安に寄り添います。
- 具体的には、「暮らしの負担3つのゼロ」として、水道の基本料金や小学校給食費、高齢者のインフルエンザ予防接種料を無償化するほか、市民へのギフトカード配布事業を実施します。
- さらに、社会福祉施設や農業、漁業を営む方、中小企業への支援を実施するなど、事業者支援に取り組みます。

SDGs未来安心都市・明石

～ いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで ～

対話と共創によるもっとやさしいまちづくりで
暮らしに“安心”を生み出す

2030年の
あるべき姿

後期戦略計画
における
まちづくりの
重点事項

重点的に
推進する
まちづくりの
柱


豊かな自然と共生し
暮らしの質を高める


笑顔あふれる共生社会
インクルーシブ社会をつくる


こども・若者の育ちを
まちのみんなで支える


安全安心を支える
生活基盤を強化する


まちの魅力を高め
活力と交流を生み出す

豊かな自然と共生し暮らしの質を高める

「気候非常事態宣言」に基づく「ゼロ・カーボンあかし」や「ゼロ・ウェイストあかし」に向けた資源循環、ごみ減量、あかしネイチャーポジティブ宣言に基づく生物多様性保全の取組を推進するなど、豊かな自然を未来へつなげる持続可能なまちづくりに取り組めます。

笑顔あふれる共生社会 インクルーシブ社会をつくる

誰もが「ありのままの自分」でいられ、支え合いながら安心して暮らせる共生社会の実現を図るため、全国初のインクルーシブ条例などに基づき、すべての人にやさしい取組を一層推進します。

子ども・若者の育ちをまちのみんなで支える

「子どもまんなか社会」の実現に向け、明石独自の5つの無償化だけでなく、子育て環境の充実や多様な学びの保障をきめ細やかに推進することで、子ども・若者が生きる力を育み、未来に夢が持てる環境を整えます。

安全安心を支える生活基盤を強化する

市民の安全・安心な暮らしを確保するため、地震や台風をはじめとする自然災害への対応やインフラの計画的な整備などソフト・ハードの両面から取り組みます。

まちの魅力を高め活力と交流を生み出す

まちの持続可能な発展を目指すため、地域産業の更なる振興や地域におけるまちづくりプロジェクトの推進、大蔵海岸の魅力向上などに取り組み、まちの魅力を高め、活力と交流を生み出します。

対話と共創でもっとやさしいまちへ

暮らし安心共創予算



部門横断的な連携を強化

各施策については、対話と共創を基本とし、庁内各局の連携を図りつつ、横ぐしを通じた推進体制の構築ときめ細やかなまちづくりに取り組んできました。こうしたまちづくりの成果を市民に実感いただけるよう、各施策をさらに前へ進めます。

令和8年度 当初予算案概要

■ 全会計

	令和7年度	令和8年度	増減	増減率
一般会計	1,366 億円	1,515 億円	149 億円	(10.9 %)
特別会計	702 億円	716 億円	14 億円	(1.9 %)
企業会計	254 億円	257 億円	3 億円	(1.2 %)
全会計	2,322 億円	2,488 億円	166 億円	(7.1 %)

※ 一般会計、全会計ともに平成30年度以降9年連続の過去最大規模

■ 3基金繰入金の当初予算額・残高見込額

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
当初予算額	25.0 億円	28.0 億円	29.0 億円
残高見込額	120 億円 (積立4・取崩3)	125 億円 (積立5・取崩0)	117 億円 (不用21・取崩8)

SDGs 未来安心都市・明石



新年度の主な取り組み INDEX

安全安心	質の高い教育環境の提供と避難所の機能強化 市内全小学校体育館への空調整備	10.1億円
	こどもの健やかな成長を支える 学校給食の完全無償化、有機・地産地消等の推進	15.1億円
	誰ひとり取り残さない多様な学びを保障する 不登校児童生徒への支援の充実	1.84億円
	すべての子ども・子育て家庭に安心を提供する 妊娠前からの継続した子育て支援 (子育てまるごとサポート^{プラス})	1.61億円
	子ども・若者の主体性を育む 子ども・若者を応援する取組の推進	1.54億円



新年度の主な取り組み INDEX

安全 安心	自助・共助・公助を推進する 防災・減災に向けた環境整備	3,000万円
安全 安心	市民の安全安心を守る 消防・救急体制の強化	320万円
安全 安心	暮らしの安全安心を高める 路上喫煙の防止/有機フッ素化合物への対応	2.28億円
安全 安心	快適で住みやすい都市基盤づくり 安全・安心の都市基盤整備の推進	—
環境 経済	環境と経済の好循環を生み出す 脱炭素社会（ゼロ・カーボンあかし）の実現に向けた取組	5,000万円



新年度の主な取り組み INDEX

環境 経済	ごみの減量にまちのみんなで取り組む ゼロ・ウェイストあかしの取組	2,900万円
環境 経済	脱炭素化・資源循環を一体的に推進する 新ごみ処理施設整備に向けた取組	10億円
環境 経済	豊かな自然を未来へつなげる ネイチャーポジティブの実現に向けた取組	3,600万円
環境 経済	環境に配慮した持続可能な農業を推進する あかし農業未来プロジェクト	1,600万円
インクル ーシブ	障害のある方が希望する生活を送る 障害のある方への支援の充実 （支援アプリの導入）	1,200万円



新年度の主な取り組み INDEX

インクルーシブ	地域の人みんなで支え合う 認知症施策の更なる推進	5,700万円
インクルーシブ	人生100年時代をまちの人みんなで応援する 介護予防の取組の拡充・強化	960万円
にぎわい	明石の魅力を高め発信する/世界一のビーチスポーツスポットを目指す 観光振興の推進/大蔵海岸の魅力向上の取組	7,600万円
にぎわい	時のまち明石の魅力を発信する 天文科学館のリニューアルオープン	1,600万円



新年度の主な取り組み INDEX

にぎわい	まちの魅力を創出する まちづくりプロジェクト	—
にぎわい	地域経済の活性化に向けた取組を推進する 市内中小企業等への支援	1,300万円
対話共創	対話と共創の第2ステージ 対話と共創のまちづくりの推進	1.08億円
対話共創	簡単、便利な行政サービスの実現 市民にやさしいDXの推進	2,000万円



明石市における物価高騰対策

全体予算規模 約 **28.1** 億円
うち重点支援交付金 約 **26.3** 億円

○市民生活を守る

(1) 市民生活応援事業（プリペイド式ギフトカード配布）	9億4400万円
(2) 水道の基本料金の無償化（4か月）	5億7400万円
(3) 小学校給食無償化の先行実施／学校給食費の完全無償化	2億7800万円
(4) 高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化	1億円
(5) プレミアム付商品券事業（あかしタコpay50）	4億7100万円
(6) 高校進学のための給付型奨学金の実施（定員200名）	1億2400万円
(7) コミュニティバスの運行補助支援	5900万円
(8) ひとり親世帯への臨時給付金の支給(2026年2月給付予定)	4800万円

○事業者の地域経済活動を支える

(1) 社会福祉施設への物価高騰補助	1億4700万円
(2) 農業従事者等への物価高騰補助	130万円
(3) 暫定税率廃止に伴う漁業用燃油価格の変動対策	5000万円
(4) 事業者への脱炭素化支援	1000万円



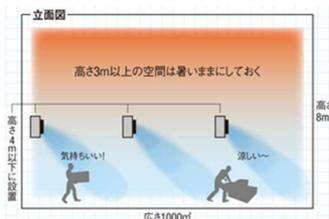
質の高い教育環境の提供と避難所の機能強化

市内全小学校体育館への空調整備

事業費 **10.1** 億円

■ 全小学校体育館へのエアコン導入 **新規**

- 熱中症対策の効果が高く、必要経費及び環境負荷の低い「エリア空調」を導入
- 設置台数:1校あたり3~4台
- 機器・設置費:35,000千円×28校 = 980,000千円
- 設置関連費用(断熱対策工事など)
1,000千円×28校 = 28,000千円
- 2027年3月までに市内全小学校に整備
- 市内全中学校・明石商業高校には2025年度に整備済





こどもの健やかな成長を支える

学校給食の完全無償化、有機・地産地消の推進

事業費 15.1億円

■ 小学校給食の完全無償化 **新規**

- こどもの人数や所得といった条件を設けることなく、小学校給食の無償化を実施
- 国の基準を超える給食材料費については、保護者負担を求めず市が負担することで完全無償化を実現する。
- 開始時期:2026年2月(国施策の4月から実施に先駆けて先行実施)

■ 中学校給食の無償化

- 食材価格の上昇に対しても公費負担し、無償化を継続する。

※ 財源の一部として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

■ 有機食材の活用と地産地消の推進 **拡充**

- 地元農産物やふるさと明石への愛着を育むなど、持続可能な食を支える食育を推進するため、有機・地産地消給食ウィークとして、有機食材・明石市産農水産物を重点的に使用した給食を提供する。



SDGs 未来安心都市・明石



誰ひとり取り残さない多様な学びを保障する

不登校児童生徒への支援の充実

事業費 1.84億円

■ 全小中学校での校内フリースペースの整備 **拡充**

- 全中学校(13校)及び全小学校(28校)に設置(新設:14小学校)
- 学習や生活支援を行う居場所サポーターを配置

■ フリースクール等の利用料助成

- 対象者数:約40人
- 支給金額:上限1万円×12月

■ 公設民営のフリースペースの運営

- 対象者:市内在住の6歳から18歳までの児童生徒及びその保護者
- 定員:東部施設30名、西部施設50名
- 内容:こどもが安心できる空間での遊びや学習支援、こどもや保護者からの相談支援など



SDGs 未来安心都市・明石

こども

すべてのこども・子育て家庭に安心を提供する
妊娠前からの継続した子育て支援
 (子育てまるごとサポート^{プラス})

事業費 2,700万円

■ **不妊治療助成(モデル事業) 新規**

- 子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減し、希望する治療を受けられる環境の促進を図るため、不妊治療に係る費用の一部を助成する。

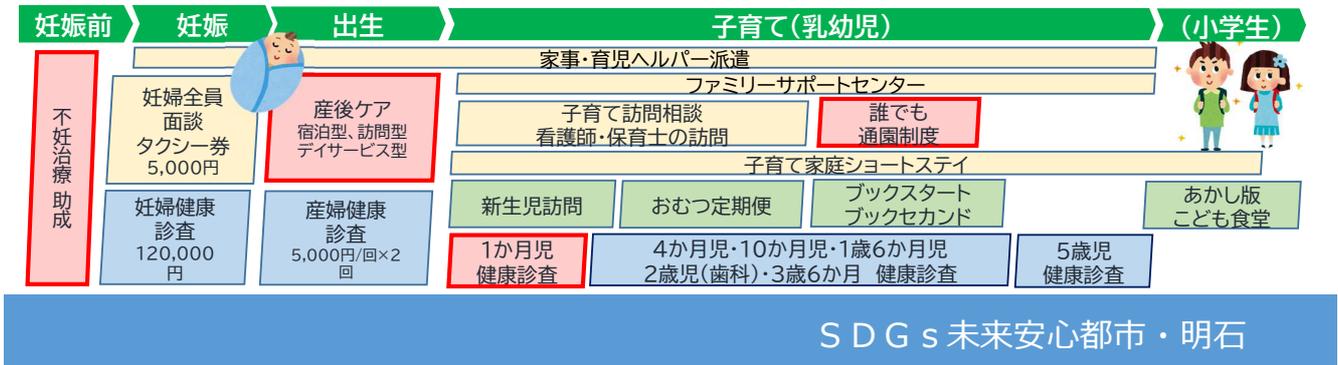
【事業内容】※ 年齢、回数制限なし

- 一般不妊治療(タイミング法、排卵誘発法、人工授精等):1/2助成(上限2万円/年)
- 特定不妊治療(体外受精、顕微授精)

①保険診療、保険外診療(混合診療等):1回(クール)毎に上限3万円

②保険外診療(保険診療の回数・年齢制限越え):上限5万円/年

※いずれも令和8年4月から12月までに治療を行い、治療費を支払ったものを対象とする。



こども

すべてのこども・子育て家庭に安心を提供する
妊娠前からの継続した子育て支援
 (子育てまるごとサポート^{プラス})

事業費 1.34億円

■ **多胎児家庭への支援の充実 新規**

- 妊婦健康診査費用の追加助成(1回5,000円×5回分)
- 産後ケアお試し券を多胎児人数分助成
- 3歳未満:子育て応援ヘルパー利用券(1時間×24枚)助成
- 就学前:ファミリーサポートセンター利用券(1時間×24枚)助成

■ **低所得の妊婦等に対する初回産科受診料の支援 新規**

■ **産後ケアサービスの利用促進 拡充**

- オンラインシステムの導入
- 利用可能な事業所の拡大

■ **乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の実施 新規**

■ **1か月児健康診査の費用助成額の増額 拡充**

- 上限4,000円→上限6,000円





こども・若者の主体性を育む

こども・若者を応援する取組の推進

事業費 1.54億円

■ こども・若者計画を推進するための取組 **新規**

- 計画の施策展開にかかる「こども・若者による会議」を定期的開催
- こども・若者との対話を通して「明石市こども・若者計画」の施策展開を行う

■ こども若者交流施設の運営

- 内容:「AKASHIユーススペース」や「あかしユースポート」において、若者会議とも連携し、若者の声を聞きながら、よりよい環境づくりと活動支援を行う。

■ プレーパークの実施

- あかしプレーパークの拠点づくり(大蔵海岸公園、明石公園等) **新規**
- 補助金の創設:上限20万円(予定) **新規**
- 人材育成に向けた研修の実施

■ 明石らしい中学校部活動の地域展開(あかしタイム) **拡充**

- 運営団体の設立、運営管理
- モデル事業:剣道・柔道・新種目の追加、学校単位での実施



SDGs 未来安心都市・明石



自助・共助・公助を推進する

防災・減災に向けた環境整備

事業費 3,000万円

■ 多様な視点の避難所ニーズへの対応 **拡充**

- 簡易ベッド、間仕切り等の備蓄物資の拡充
- 高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児等に必要となる備蓄物資の確保
- 避難所への備蓄倉庫の整備(野々池中学校を予定)

■ ひなんサポーターの養成及び個別避難計画の作成

- 地域版ひなんサポーター研修の開催
- 個別避難計画の作成 2026年度:150件程度

■ ハザードマップの改定及び全戸配布 **拡充**

- 新たな南海トラフ地震被害シミュレーション結果や気象庁が改正する警戒レベル相当情報などを反映したものに改定

■ 被災者支援システムの導入 **新規**

- 兵庫県下統一のシステムを導入
- 対応業務:家屋被害認定調査業務、罹災証明書発行業務 等



SDGs 未来安心都市・明石

市民の安全安心を守る 消防・救急体制の強化

事業費 **320**万円

■ 救急隊の増隊 **拡充**

- 救急出動件数が増加傾向にあり、高齢化により今後も増加が見込まれるため、計画的な職員採用と職員配置を行い救急隊1隊を増隊(7隊→8隊)し、救急サービスの安定を図る。

2026年度:救急繁忙時期のみ増隊

2027年度:常時救急隊1隊を増隊

■ ドローンの配備 **新規**

- 多岐にわたる災害現場対応を迅速かつ効率的に行うためドローンの導入及び操縦者の養成を行う。
- 導入数:1台、操縦者:2名
- 活用例
火災現場:延焼範囲の確認
自然災害:高潮、土砂災害等の被害状況確認等
水難事故:潜水作業の強化



SDGs 未来安心都市・明石

暮らしの安全安心を高める 路上喫煙の防止/有機フッ素化合物への対応

事業費 **2.28**億円

■ 路上喫煙防止条例の制定 **新規**

- 審議会:3回開催(予定)
- パブリックコメントの実施 など



■ 有機フッ素化合物(PFAS)への対応 **拡充**

- 地下水汚染の監視体制等の強化
指針値超過地点等への継続検査:3か所 年2回
- 水質検査体制の強化
- 新規物質(PFHxS)への対応
- 水道水へのPFAS低減対策
浄水処理中の工程水のPFAS除去対策を強化
- 個々に寄り添った健康相談の実施



SDGs 未来安心都市・明石



快適で住みやすい都市基盤づくり 安全・安心の都市基盤整備の推進

■ 市役所新庁舎の建設

- 整備場所: 現所在地(中崎1丁目)
- 階数: 7階建て(7階は棟屋部分)
- 概算工事費: 約187億円
- 延床面積: 約21,000㎡
- 事業内容: 2026年度: 建設工事、フリーアドレス推進に向けた検討 など
2028年度: 移転、供用開始
2028年度~29年度: 現庁舎解体、外構整備



■ 消防署新中崎分署の建設

- 整備場所: 相生町1丁目
- 階数: 4階建て、延床面積: 約1,975㎡
- 概算工事費: 約18億円、2026年度: 建設工事



SDGs 未来安心都市・明石



快適で住みやすい都市基盤づくり 安全・安心の都市基盤整備の推進

- 藤江駅のバリアフリー化
内容: 階段スロープ化、トイレのバリアフリー化等
総事業費: 約9.5億円
2026年度: 整備工事
2027年度: 竣工予定
- 藤江駅周辺整備
内容: 踏切拡幅、ロータリー・自転車駐輪場の整備
事業費: 約1億円
2026年度: 踏切拡幅工事
2028年度: 竣工予定



- 水道広域化推進プラン関連事業
総事業費: 約35億円
事業期間: 2023年度~2030年度
2026年度~2028年度神戸市連絡管布設(その3)工事

- 上下水道庁舎の建設
整備場所: 明石川浄水場内
階数: 2階建て
概算工事費: 約15億円
延床面積: 約1,900㎡
事業内容:
2024年度~25年度 実施設計
2025年度~27年度 建設工事
2027年度: 供用開始予定



SDGs 未来安心都市・明石



快適で住みやすい都市基盤づくり 安全・安心の都市基盤整備の推進

■明石SAへのスマートインターチェンジの設置に関する取組
【内容】
明石SAや大久保IC周辺道路の交通状況調査
新ルート周辺の測量及び道路予備設計の実施
石ヶ谷公園区域や都市計画の変更に関する調査検討
交通量推計や費用対効果の検討 など

■板額踏切(安全対策)
施行延長:16.7m(踏切部)
2026年度:概略設計

■江井ヶ島松陰新田線
事業延長:1,500m
総事業費:約22億円
事業期間:2016年度~2026年度
2026年度:道路築造工事、埋蔵文化財調査、用地買収等

■山手環状線(大窪工区)
事業延長:700m
総事業費:約40億円
事業期間:2020年度~2026年度
2026年度:道路築造工事、用地買収、物件移転補償等



環境と経済の好循環を生み出す ゼロ・カーボンあかしの実現に向けた取組

事業費 5,000万円

■ あかし脱炭素経営パワーアップ制度 拡充

- 事業者向け脱炭素化設備導入支援

対象者: 脱炭素経営宣言事業者

太陽光発電設備	上限100万円	5件
電気自動車の普通充電設備	上限 10万円	10件
LED照明等省エネルギー設備	上限 30万円	60件程度

※ 財源の一部として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

- 定例会の開催等によるサポーターとの連携強化及び情報共有

■ 家庭向け脱炭素化設備導入支援事業

- 対象者: 市内の住居に対象設備を設置した者

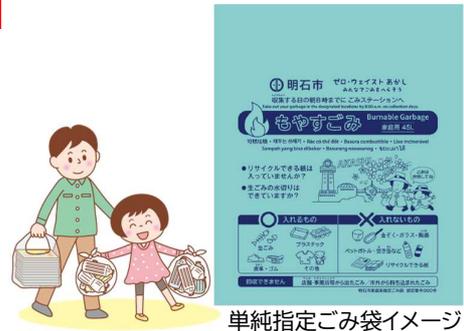
既存住宅	①家庭用蓄電池	上限5万円	150件
	②太陽光発電設備	定額8万円	150件



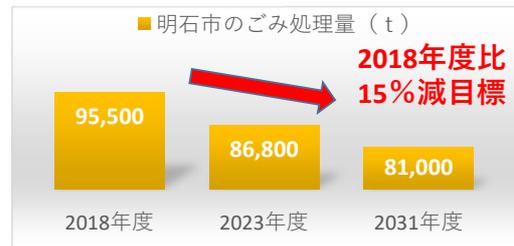
ごみの減量にまちのみんなで行く ゼロ・ウェイストあかしの取組

事業費 **2,900万円**

- 「明石市一般廃棄物処理基本計画」の改定 **新規**
- 単純指定ごみ袋の導入に向けたPR **新規**
 - 単純指定ごみ袋サンプルの全戸配布
 - 単位自治会等からの要請に応じた個別説明会の実施
- 家庭用生ごみ処理機等の助成
 - 3万円(上限)×100人
- 紙類の再資源化の推進
 - 紙類リサイクルBOX「Taco箱」での紙資源回収
 - 事業系機密文書の無料回収
- 地域におけるゼロ・ウェイストあかしの推進
 - ごみ減量推進員と連携した取組の推進 など



単純指定ごみ袋イメージ



SDGs 未来安心都市・明石

脱炭素化・資源循環を一体的に推進する 新ごみ処理施設整備に向けた取組

事業費 **10億円**

- 新ごみ処理施設の建設
 - 施設規模: 焼却施設 276t/日以下、資源リサイクル施設 55t/5h以下
 - 事業方式: DBO方式(公設民営、性能発注)
 - 事業期間: 【施設整備】2026年度～30年度 【運営】2031年度～50年度
 - 概算事業費: 計810億円(施設整備費: 493億円 運営費(20年間): 317億円)
 - ※ 事業費は令和8年2月に公表する優先交渉権者の提案内容や見積価格等を基に確定予定
- 2026年度: 施設整備・運営事業者との契約、旧大久保清掃工場等解体
- 脱炭素化・資源循環の推進
 - プラスチックごみの分別対応、周辺公共施設への余剰電力供給の実施 など

	年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13
解体工事							試運転
施設整備 (実施設計含む)							
施設運営 (供用開始)							
		実施設計		施設整備			

SDGs 未来安心都市・明石

豊かな自然を未来へつなげる ネイチャーポジティブの実現に向けた取組

事業費 3,600万円

- 生物多様性あかし戦略2026の推進
 - 自然共生サイト認定に向けた取組 **新規**
 - ネイチャーツアーの実施(3回)
 - ビオトープを活用した希少種生育生域外保全(2箇所) など
- 里山の健全な生態系への回復
 - 大学と連携した里山保全の実施 **新規**
 - 自然体験や環境学習等の場としての活用
- 神戸市との連携協定に基づく取組
 - 共同による生態系保全の取組やフォーラムの開催 など
- 特定外来生物の防除等
- 豊かな海づくりの推進 **拡充**
 - 豊かな海づくり再生(施肥の増量、たこつぼの設置等)
 - アマモ場の造成 など



SDGs 未来安心都市・明石

環境に配慮した持続可能な農業を推進する あかし農業未来プロジェクト

事業費 1,600万円

- 大型機械・スマート農業の導入支援 **新規**
 - 対象:規模拡大が見込まれる認定農業者、認定新規就農者、営農組合等
 - 補助率:1/2(上限200万円)
- 使いやすい農地の整備支援 **新規**
 - 対象:規模拡大が見込まれる認定農業者、認定新規就農者等
 - 整備内容:畦畔除去、高低差解消、農業用機械の進入路整備等
 - 補助額:上限50万円
- 環境保全型農業(緑肥の施用)への支援
 - 5,000円/10a
- 減化学肥料栽培につながる緑肥作物の種子購入に対する補助
 - 購入金額のおおむね50% さらに物価高騰対策として30%上乗せ
- 市内畜産農家が生産する堆肥等の購入に対する補助
 - 購入金額の20%



SDGs 未来安心都市・明石

インクル
ーシブ

障害のある方が希望する生活を送る 障害のある方への支援の充実

事業費 1,200万円

■ 障害のある方を支援するアプリの導入 **新規**

- 障害福祉に特化したアクセシビリティに配慮したアプリの導入
- 機能:利用サービス等に応じたお知らせ配信(プッシュ通知)
障害福祉のしよりのデジタル化によるサービス案内
サービス事業所の検索機能、位置情報等の提供 等



■ 障害児通所事業所巡回支援

- 事業所へ専門職等を派遣し、支援内容を評価
- 質の向上に資する研修の実施



SDGs 未来安心都市・明石

インクル
ーシブ

地域みんなで支え合う 認知症施策の更なる推進

事業費 5,700万円

■ みまもりあいプロジェクトの実施【民間提案採択事業】 **新規**

- 緊急連絡ステッカー及び検索配信アプリを導入し新たな見守り支援サービスを実施
- 対象者:認知症の疑いがある人、ひとり歩きの恐れがある人(認知症の診断不要)
- 運用方法:対象者等からの申請(導入初年度は自己負担なし)
検索配信アプリは無料ダウンロード可

■ 認知症あんしんプロジェクトの推進

- 75歳到達者へのオレンジチェックシート送付
- 認知症診断費用の全額助成
- あかしオレンジ手帳(認知症手帳)の発行、サポート給付金の支給など

■ あかしオレンジサポーター制度の推進

■ 「認知症啓発月間」(9月)の啓発事業の実施



SDGs 未来安心都市・明石

インクルーシブ

人生100年時代をまちのみんなで応援する 介護予防の取組の拡充・強化

事業費 **960**万円

- **全世代向け健康づくり体操の創設** **新規**
 - 新たに健康づくり体操を制作
 - プロモーション動画を作成
 - 民間企業と連携してPRを実施
- **(仮称)短期集中介護予防サービスの実施** **新規**
 - 身体機能等が低下した高齢者のために、訪問と通所のリハビリ等を組み合わせて、短期集中で生活機能の改善を図る
- **フレイルサポーターの活躍の推進**
- **フレイルチェック会の実施**
- **「健康づくりのMyルーティン」のさらなる推進**



SDGs 未来安心都市・明石

にぎわい

明石の魅力を高め、発信する/世界一のビーチスポーツスポットを目指す 観光振興の推進/大蔵海岸の魅力向上の取組

事業費 **7,600**万円

- **明石市観光振興基本構想の改定に向けた取組** **新規**
- **大蔵海岸みらいプロジェクトの実施(魅力向上に向けた検討)** **拡充**
 - 会議体の設置、大蔵海岸の魅力向上にかかる中長期計画の立案
- **既存施設の改修等** **拡充**
 - 施設改修:トイレ改修(洋式化)、白砂ゾーンの拡充
- **「日本の夕陽朝日の百選」への登録** **新規**
- **神戸マラソンの開催協力**
 - 開催予定日:2026年11月15日(日)、出走者数 約2万人
- **ビーチスポーツイベントの開催**
 - ビーチスポーツフェスタinあかし(9月開催)
 - 全日本ビーチバレーボール U-23 (7月開催)
- **インクルーシブビーチプロジェクト**
 - 障害のある人も安心して海水浴を体験できるイベント及びサポートスタッフ講習会の開催



SDGs 未来安心都市・明石

にぎわい

時のまち明石の魅力を発信する 天文科学館のリニューアルオープン

事業費 1,600万円

■ 天文科学館のリニューアル 拡充

- オープン時期:2026年夏頃(予定)
- リニューアルイベント等の実施、記念グッズの制作
- 主なリニューアル内容 事業費5億9,170万円(令和7年度予算分)
 - ・空調の改良 ・照明のLED化 ・外壁、屋上防水の修理
 - ・エレベーターの改良 ・プラネタリウム音響、プロジェクターの改良



■ プラネタリウムの魅力発信 拡充

- プラネタリウムの恒星原板の修繕
- 全天周ドーム映像制作
- 歴史的なプラネタリウム投影機の特別展示 など



■ 時のまち明石の魅力向上 拡充

- 時計や暦の展示など時に関する展示の充実 など

■ 休館中の取組

- 移動式プラネタリウム、館外での観望会や特別展の実施 など

SDGs 未来安心都市・明石

にぎわい

まちの魅力を創出する まちづくりプロジェクト

事業費 27.2億円

■ 西明石駅南地区整備事業

- ①駅ビル・改札[JR事業]
- ②駅前広場[市事業]
- ③駐輪場[市事業]
- ④西明石地域交流センターicotto整備[市事業]
 - 用途 : 複合用途(図書コーナー、集会所等)
 - 建築面積:約1,400㎡ 延床面積:約3,900㎡
 - 階数:地上4階
- 供用開始:①~③2026年度④2027年度
- ⑤アクセス道路[市事業]



■ 上ヶ池公園活用に向けた取組

- 上ヶ池公園パークマネジメントチームによる取組



SDGs 未来安心都市・明石

にぎわい

まちの魅力を創出する まちづくりプロジェクト

- 大久保駅周辺市有地の利活用
 - 新大久保市民センター(暮らしと交流の新たな拠点)の整備
 - ・公民連携手法を活用し、中部地区保健福祉センター用地に整備
 - ・2026年度:整備事業者を選定し協定を締結
 - ・2027年度以降:基本設計及び実施設計、施工
 - JT跡地公共公益施設用地
 - ・暫定的に広場等を整備し、暫定利用しながら利活用方策を検討



- 旧市立図書館跡地新施設整備事業
 - 【地域交流拠点】
 - 用途:多目的ホール・学習室等
 - 建築(延床)面積:約1,000㎡
 - 階数:平屋建て
 - 【屋外空間】
 - 用途:大屋根広場、芝生広場・ベンチ等
 - 面積:約4,000㎡
 - 2026年度:旧図書館解体工事、新施設設計
 - 2027年度以降:解体工事、建設工事、供用開始



- 県と連携した明石港東外港における賑わいの創出に向けた取組
 - ・再開発の推進について県と検討調整
 - ・再開発着手までの暫定期間において県が実施する賑わい創出事業を支援



SDGs 未来安心都市・明石

にぎわい

地域経済の活性化に向けた取組を推進する 市内中小企業等への支援

- 明石市商業振興基本計画の改定 **新規**
 - 改定時期:2027年3月(予定)
- あかし保健所多目的ホールの休日・夜間の貸出 **拡充**
- チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助
 - 補助額:上限50万円(対象経費の2/3以内)
- 商店街若者・女性新規出店チャレンジ応援事業補助
 - 補助額:上限75万円
 - (対象経費の1/6以内、県と合わせて1/3以内)
- ビジネスコミュニティサイトの運営支援
- 中小企業奨学金返済支援事業補助
 - 内容:兵庫型奨学金返済支援制度を導入した中小企業等への上乗せ支援
 - 助成額:従業員1人につき上限3万円
 - (年間返済額の1/6以内、負担割合:県2/3、企業1/6、市1/6)

事業費 1,300万円

明石市チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助

新商品・新サービス開発、販路開拓を目指す皆さんを応援します!

例えば...

プログラム開発

お土産の開発

地元産を使ったメニュー開発

対象者	補助額
市内に本社・本店(主たる事業所)がある ①中小企業者・小規模企業者、個人事業主の方 ②令和7年度中に創業を予定されている方	最大50万円以内(対象経費の2/3以内) ※上限額 10件(プレゼンテーション審査会で決定)

補助対象事業

①新商品・新サービスの開発
(例) 明石の新たな土産商品の開発、地元産の魚や野菜を使ったメニュー(食品)を開発するための開発(機材購入、原材料費など)、試作品を短期間で試作できるプログラム開発や3Dプリンター導入開発など

②販路の開拓・拡大
(例) 販路を開拓・拡大するための展示会への出展、HPやWEB広告などの広報など

補助対象経費 機材等購入費、広報・宣伝費、ウェブサイト開発費、展示会等出展費、開発費、賃料料など

申請受付期間 令和7年5月1日(水)～6月30日(月)

補助の流れ: 公募 → 審査 → 選定 → 交付決定 → 補助金交付

SDGs 未来安心都市・明石

対話
共創

対話と共創の第2ステージ

対話と共創によるまちづくり

事業費 1.08億円

■ あかし共創プラットフォームの推進 拡充

- 2025年11月1日立ち上げ
- 運営方針: 「つながり」で共創、「テーマ」で共創
- 機能: 「知りあう」「語りあう」「創りだす」
- 場づくり: 共創カフェ(出会いと学びの入り口)、共創ミーティング
(課題やプラットフォームの方向性の共有)などを継続的に開催



■ あかし共創プラットフォーム市民提案助成金 新規

■ 「あかし対話と共創ウィーク」の開催

■ 市民ファンリレーター養成講座の開催

■ 産官学民との共創によるまちづくりの推進

- 明石市民間提案制度の推進
- 包括連携協定締結企業・大学等との連携

■ 協働のまちづくりのあり方検討 新規

■ 広報あかしの全戸配布 新規

- ポスティングにより、2026年7月開始予定、事業費:8,680万円

あかし共創プラットフォーム イメージ



SDGs 未来安心都市・明石

対話
共創

簡単、便利な行政サービスの実現

市民にやさしいDXの推進

事業費 2,000万円

■ AIを活用した市政情報の検索・回答サービス 新規

- 市公式LINEや市ホームページ上からAIチャットボットにより必要な市政情報を得られるよう、事例研究・実証実験を実施

■ 行かない窓口の推進

- コンビニATMを活用した「口座振替登録サービス」の導入 新規 西日本初
窓口に行かなくても手続きができる仕組みを導入
2026年度は国民健康保険料について実施予定

- オンライン申請の拡充 拡充

- 明石市公共施設予約システムの拡充 拡充

■ 書かない窓口の推進

- マイナンバーカード等の情報を読み取り各種申請書に
印字できる機器の導入窓口の拡充 拡充

■ デジタル人材の育成

- デジタル推進員制度の推進と成果の横展開に取り組む



SDGs 未来安心都市・明石

物価
対策

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

物価高騰対策(市民生活を守る)

全体予算規模 約28.1億円
うち重点支援交付金 約26.3億円

■ 市民生活応援事業(ギフトカード配布)

9.44億円

- 対象者:19歳以上の市民
※18歳までの市民には、別途1人当たり2万円の子育て応援手当を支給(2月支給)
- 配布物:プリペイド式ギフトカード、配布時期:2026年8月頃を予定
- 配布方法:世帯人数×3,000円分がチャージされたカードを郵送

【暮らしの負担3つのゼロ】

■ 水道の基本料金の無償化(4か月)

5.74億円

- 対象者:約15万世帯(事業者も含めた全水道使用者)
- 減免額:3,828円(一般家庭の基本料金957円×2026年2月使用分から4か月分)

■ 小学校給食無償化の先行実施・学校給食費の完全無償化

2.78億円

- 2026年4月からの給食無償化に先駆けて、2026年2月から先行実施
- 食材価格の上昇分を小中ともに公費負担し、保護者負担をゼロに

■ 高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化

1億円

- 実施時期:2026年10月から2027年1月

SDGs 未来安心都市・明石

物価
対策

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

物価高騰対策(市民生活を守る)

■ プレミアム付商品券の販売(あかしたこPay50)

4.71億円

- プレミアム率:50%
- 発行口数:750,000口(1口1,000円)
1口1,500円分のデジタル商品券を1,000円で販売
- 申込期間:3月2日~3月31日
- 利用期間:4月1日~6月30日
- 利用店舗:市内飲食店及び小売事業者(コンビニ等は除く)



■ 高校進学のための給付型奨学金の実施(定員200名)

1.24億円

- 入学準備金:30万円(上限)、在学時支援金:毎月5千円

■ コミュニティバスの運行補助支援

5,900万円

- たこバスへの人件費上昇分を補助

■ ひとり親世帯への臨時給付金

4,800万円

- こども1人あたり1万円を支給(2026年2月予定)

SDGs 未来安心都市・明石

物価
対策

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

物価高騰対策(地域経済を支える)

- **社会福祉施設への物価高騰補助** **1.47億円**
 - 対象施設:障害福祉・介護サービス事業者、民間保育施設、児童養護施設等
 - 補助単価:県の補助単価をベースに設定予定
- **農業従事者等への物価高騰補助** **130万円**
 - 酪農業者への飼料代等高騰対策支援
 - 価格が高騰している緑肥作物の種子購入に上乗せ補助 購入金額の30%程度
- **暫定税率廃止に伴う漁業用燃油価格変動対策** **5,000万円**
 - 燃油価格変動による影響を緩和するための助成を行う
- **事業者への脱炭素化支援** **1,000万円**
 - LED照明等省エネルギー設備の導入を支援
 - あかし脱炭素経営パワーアップ制度の事業として実施